



決勝レポート

2012/5/13 Rd-2 ツインリンクもてぎ

天候：晴れ 気温：21℃ 出走台数：17台

観客数：12日(土)6,500人 13日(日)9,000人

雲一つない青空、20度を越えた初夏のすがすがしい天候の中迎えた第2戦ツインリンクもてぎ。3番手スタートの伊沢選手、5番手スタートの塚越選手、ともにスタートの動きだしは抜群。ただ伊沢選手は2コーナーでの位置取りで競り負け、オリベイラ選手に先を越されてしまい、伊沢選手4番手、塚越選手5番手でオープニングラップを周回。

両選手ともに、ブレーキ、タイヤ、そして燃費をマネジメントしながらトップ3を追いかける展開に。伊沢選手を含むトップ4は37秒台で周回を重ねるが、それでも伊沢選手とトップ3との差は毎周広がってゆく。30周目に塚越選手を、31周目に伊沢選手をピットに呼び、それぞれミスなくコースへ送り届けたが、順位に変動はなく、コンマ1秒単位でタイムを削りながら追走する膠着状態へ。伊沢選手はタイヤ交換後も36秒フラットのすばらしいタイムで差を削るが時すでに遅く、そのまま伊沢選手4位、塚越選手5位でレースを終えた。

40：伊沢 選手 4位

スタートは悪くなかったのですが、位置取りで競り負け3位を維持できませんでした。レース中の車のバランスはよく、ブレーキとタイヤをマネジメントしながら、燃費もチームと密に連絡を取り管理できました。それでもトップ3集団についていくのは困難でした。ガソリンを消費し車が軽い状況だと、トップより速いペースを維持できるので、昨年引き続き重い状態でのスピードが足りませんね。表彰台に届かなかった悔しさが残りますが、もっともっと前進してトヨタの牙城を切り崩します。

41：塚越 選手 5位

スタートはポジションキープとなり、燃費をコントロールしながら前を追う展開でした。でもトップ集団にはついてゆけず、ピットストップ後も離される展開で差を縮めることができませんでした。鈴鹿の雪辱を地元茂木で晴らすべく臨みましたが、全く満足できないレースとなってしまい悔しいです。次戦オートポリスに向けてはすべてを練り直すつもりでチームと検証し、ポテンシャルアップをしたいです。